

JIS

家庭用及びこれに類する温水洗浄便座－ 性能測定方法－温水洗浄便座の一般的試験方法

JIS A 4424 : 2024

(JSEIA/JSA)

令和 6 年 5 月 20 日 制定

日本産業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

日本産業標準調査会標準第一部会 建築技術専門委員会 構成表

	氏名	所属
(委員長)	清 家 剛	東京大学
(委員)	太 田 啓 明	一般社団法人住宅生産団体連合会 (三井ホーム株式会社)
	鹿 毛 忠 継	国立研究開発法人建築研究所
	勝 俣 英 雄	一般社団法人日本建設業連合会 (株式会社大林組)
	嘉 藤 鋭	独立行政法人住宅金融支援機構
	釘 宮 悦 子	公益社団法人日本消費生活アドバイザー・コンサルタント・相談員協会
	興 石 直 幸	一般社団法人日本建築学会 (早稲田大学)
	高 橋 光 明	国土交通省大臣官房官庁営繕部
	田 辺 新 一	早稲田大学
	永 井 香 織	日本大学
	萩 原 伸 治	一般財団法人建材試験センター
	原 智 彦	断熱・保温規格協議会
	藤 野 珠 枝	主婦連合会 (藤野アトリエ一級建築士事務所)
	吉 田 可 保 里	T&T パートナーズ法律事務所

主 務 大 臣：経済産業大臣 制定：令和 6.5.20

官 報 掲 載 日：令和 6.5.20

原 案 作 成 者：一般社団法人日本レストルーム工業会

(〒461-0002 愛知県名古屋市東区代官町 39-18 日本陶磁器センタービル TEL 052-935-7944)

一般財団法人日本規格協会

(〒108-0073 東京都港区三田 3-11-28 三田 Avanti TEL 050-1742-6017)

審 議 部 会：日本産業標準調査会 標準第一部会 (部会長 松橋 隆治)

審議専門委員会：建築技術専門委員会 (委員長 清家 剛)

この規格についての意見又は質問は、上記原案作成者又は経済産業省産業技術環境局 国際標準課 (〒100-8901 東京都千代田区霞が関 1-3-1) にご連絡ください。

なお、日本産業規格は、産業標準化法の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本産業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

目次

	ページ
序文	1
1 適用範囲	1
2 引用規格	2
3 用語及び定義	2
4 一般試験条件	3
4.1 一般	3
4.2 環境条件	3
4.3 給電	3
4.4 給水	3
4.5 パラメータの単位及び測定デバイスの最小測定精度	4
5 洗浄性能	4
5.1 洗浄水温度、安定性、立上がり時間及び温水持続時間	4
5.1.1 セットアップ	4
5.1.2 測定方法	4
5.1.3 結果	6
5.2 水勢設定変更時の洗浄水温度安定性	6
5.2.1 セットアップ	6
5.2.2 測定方法	6
5.2.3 結果	8
5.3 洗浄流量	8
5.3.1 セットアップ	8
5.3.2 測定方法	8
5.3.3 結果	9
5.4 洗浄範囲	9
5.4.1 セットアップ	9
5.4.2 測定方法	12
5.4.3 結果	12
5.5 洗浄効果	13
5.5.1 セットアップ	13
5.5.2 測定方法	13
5.5.3 結果	14
5.6 被水範囲	14
5.6.1 セットアップ	14
5.6.2 測定方法	14
5.6.3 結果	15

5.7 ノズル自動洗浄	15
5.7.1 セットアップ	15
5.7.2 測定方法	15
5.7.3 結果	16
5.7A 洗浄力	16
6 暖房便座性能	17
6.1 便座表面温度・温度むら・立上がり時間	17
6.1.1 一般	17
6.1.2 セットアップ	17
6.1.3 測定方法	18
6.1.4 結果	19
7 温風機性能	19
7.1 一般	19
7.2 温風風量	19
7.2.1 セットアップ	19
7.2.2 測定方法	20
7.2.3 結果	20
7.3 温風温度	20
7.3.1 セットアップ	20
7.3.2 測定方法	21
7.3.3 結果	21
7.4 温風機効果測定	21
7.4.1 セットアップ	21
7.4.2 測定方法	22
7.4.3 結果	23
8 消費電力及び消費水量	23
8.1 消費電力	23
8.1.1 洗浄時消費電力	23
8.1.2 暖房便座使用時消費電力	24
8.1.3 温風機使用時消費電力	25
8.2 消費水量	25
8.2.1 セットアップ	25
8.2.2 測定方法	25
8A 機械的強度	26
8.1A 便蓋強度	26
8.2A 取付け強度	27
8B 耐久性能	27
8.1B 作動耐久性能	27
8.2B 便座及び便蓋落下耐久性能	27

附属書 A (規定) 洗浄性能測定用テストメディアの作成手順	29
附属書 B (規定) 洗浄水温度測定ジグ	32
附属書 C (規定) 小孔プレートへのテストメディア充填手順	34
附属書 D (規定) 低温環境下における試験条件	35
附属書 JA (規定) 実使用における洗浄範囲試験	36
附属書 JB (規定) 実使用における暖房便座性能試験	38
附属書 JC (参考) JIS と対応国際規格との対比表	40
解 説	42

まえがき

この規格は、産業標準化法第 12 条第 1 項の規定に基づき、一般社団法人日本レストルーム工業会（JSEIA）及び一般財団法人日本規格協会（JSA）から、産業標準原案を添えて日本産業規格を制定すべきとの申出があり、日本産業標準調査会の審議を経て、経済産業大臣が制定した日本産業規格である。

この規格は、著作権法で保護対象となっている著作物である。

この規格の一部が、特許権、出願公開後の特許出願又は実用新案権に抵触する可能性があることに注意を喚起する。経済産業大臣及び日本産業標準調査会は、このような特許権、出願公開後の特許出願及び実用新案権に関わる確認について、責任はもたない。

家庭用及びこれに類する温水洗浄便座— 性能測定方法—温水洗浄便座の一般的試験方法

Electrically operated spray seats for household and similar use—Methods
for measuring the performance—General test methods of spray seats

序文

この規格は、2022年に第1版として発行された **IEC 62947** を基に、対応する部分については対応国際規格を翻訳し、技術的内容を変更することなく作成した日本産業規格であるが、対応国際規格には規定されていない規定項目（洗浄力、機械的強度、耐久性能、低温環境下における試験条件、実使用における洗浄範囲試験及び実使用における暖房便座性能試験）を日本産業規格として追加している。

なお、この規格で、箇条番号及び細分箇条番号の後に“A”から始まるラテン文字の大文字を付記した箇条及び細分箇条並びに**附属書 JA** 及び**附属書 JB** は、対応国際規格にはない事項である。また、点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格を変更している事項である。技術的差異の一覧表にその説明を付けて、**附属書 JC** に示す。

昨今、温水洗浄便座（electrically operated spray seats）は、個人住宅及び公共施設を含み様々な場所に使用されるようになってきている。

これら製品の電気安全に関する規格は、**JIS C 9335-2-84** がある。

この規格は、温水洗浄便座の性能評価のための一般的試験方法について規定したものであり、人間の疑似汚物の組成は様々であり、また、使用者の健康状態及び着座姿勢は、全体の性能に影響を与え得るという事実に基づき、人間の疑似汚物が多岐にわたるということを考慮に入れた疑似汚物を使用した試験を含むものである。

1 適用範囲

この規格は、家庭用及びこれに類する温水洗浄便座（以下、洗浄便座という。）の性能測定試験方法について規定する。

この規格は、貯湯式洗浄便座、瞬間式洗浄便座及び貯湯瞬間共用式洗浄便座を含む、洗浄便座に適用するものとする。

この規格は、医療用及び／又は生活支援機能を意図した洗浄便座には適用しない。

注記 1 この規格では、洗浄便座の騒音要求事項は規定していない。騒音計測は、**IEC 60704-1** 及び **IEC 60704-2** 規格群に規定されている。

注記 2 この規格の対応国際規格及びその対応の程度を表す記号を、次に示す。